

令和4年度 第3回 事業評価対象事業の一覧表

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和4年度 第3回)

(再評価)

資料 No	事業種名	事業名	前回評価 年度 (新規採択)	再評価 理由	事業概要	審議区分
	道路事業	一般国道163号 清滝生駒道路	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 清滝生駒道路は学研都市連絡道路の一部を構成し、関西文化学術研究都市へのアクセス向上とともに、一般国道163号の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ることを目的とした道路。 ●事業化年度 : 昭和54年度 ●全体事業費 : 1,066億円 ●事業の進捗 : 約72%(令和4年3月末) ●今後の予定 : 早期の供用を目指す。 	重点
		一般国道163号 精華拡幅	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 精華拡幅は学研都市連絡道路の一部を構成し、関西文化学術研究都市へのアクセス向上とともに、一般国道163号の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ることを目的とした道路。 ●事業化年度 : 平成2年度 ●全体事業費 : 224億円 ●事業の進捗 : 約40%(令和4年3月末) ●今後の予定 : 早期の供用を目指す。 	
	河川事業	野洲川直轄河川改修事業	H29	④⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 淀川水系河川整備計画に基づき、堤防強化の実施や水防拠点の整備により、洪水に対する安全度の向上を図る。 ●事業化年度 : 平成20年度(淀川水系河川整備計画(変更):令和3年8月策定) ●全体事業費 : 約28億円 ●事業の進捗 : 約6% ●今後の予定 : 堤防強化を順次実施するほか、水防拠点整備の着実な進捗を図る。 	重点
	河川事業	加古川総合水系 環境整備事業	R3	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 人と河川の関わりが深かった頃の加古川を目指し、魚類の移動の妨げとなっている施設の改良や、わんど・たまり、瀬・淵等を整備することで、多様な生物の生息・生育・繁殖環境および河川景観を保全・創出する。また、人と河川の豊かなふれあいの場の確保を目的に、階段護岸・管理道等を整備するとともに、沿川自治体と連携した河川空間の整備を図る。 ●事業化年度 : 昭和47年度 ●全体事業費 : 約27億円 ●事業の進捗 : 約33% ●今後の予定 : 【自然再生】当面は、わんど・たまりの再生などを実施する。 【水辺整備】加古川市かわまちづくりを新規として、令和5年度より着工し、令和14年度に完了予定。 	重点
	海岸事業	和歌山下津港海岸 直轄海岸保全施設 整備事業	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 護岸及び津波防波堤の新設・補強・嵩上げを組み合わせた施設整備を実施し、津波浸水被害の軽減を図る。 ●事業化年度 : 平成21年度 ●全体事業費 : 549億円 ●事業の進捗 : 約55%(令和4年3月末) ●今後の予定 : 港内の護岸嵩上げ等の整備については、市街地に近い港奥部から整備するなど、早期効果発現を図る。 	重点

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間が経過している事業

- ④: 再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥: 道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

令和4年度 第3回 事業評価対象事業の一覧表

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(令和4年度 第3回)

(再評価)

資料 No	事業種名	事業名	前回評価 年度 (新規採択)	再評価 理由	事業概要	審議区分
	道路事業	一般国道28号 洲本バイパス	H30	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、洲本市内の国道28号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害時の代替路の確保を目的とした延長6.0kmの道路。 ●事業化年度 : 昭和60年度 ●全体事業費 : 435億円 ●事業の進捗 : 約87%(令和4年3月末) ●今後の予定 : 早期の供用を目指す。 	一括
	河川事業	淀川特定構造物改築事業 (阪神なんば線淀川橋梁)	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 洪水疎通能力を著しく低下させ、また橋梁が堤防高より低いため、高潮時に陸閘を閉鎖している阪神なんば線淀川橋梁を架け替えることで淀川下流部の流下能力を向上させる。 ●事業化年度 : 平成12年度 ●全体事業費 : 約500億円 ●事業の進捗 : 約50% ●今後の予定 : 橋梁上部工、高架橋を順次整備し、橋梁切替後、現在の橋梁を撤去する。 	一括
	河川事業	木津川上流直轄河川改修 事業(上野遊水地)	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 上野遊水地整備と河道掘削等の河川改修を実施し、戦後最大の洪水である昭和28年台風13号洪水を安全に流下させる。 ●事業化年度 : 昭和44年度 ●全体事業費 : 約717億円 ●事業の進捗 : 約96% ●今後の予定 : 服部川河道掘削、引堤及び柘植川左岸の築堤を順次実施する。 	一括
	河川事業	円山川 直轄河川改修事業	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 円山川水系河川整備計画に基づき、築堤、遊水地整備等により、観測史上最大洪水である平成16年10月洪水(台風23号)と同規模の洪水が発生した場合であっても、全川にわたり家屋等の浸水被害の軽減を図る。 ●事業化年度 : 平成25年度 ●全体事業費 : 約589億円 ●事業の進捗 : 71% ●今後の予定 : 事業の着実な進捗を図る 	一括
	港湾事業	柴山港柴山地区 避難港整備事業	H29	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 100GT~1,000GTの船舶を対象に、海難による損失を減少させることを目的として、荒天時に船舶が避難できる静穏な海域を確保するため、泊地及び防波堤の整備を行う。 ●事業化年度 : 昭和61年度 ●全体事業費 : 348億円 ●事業の進捗 : 約73%(令和4年3月末) ●今後の予定 : 令和12年度完成に向け事業進捗を図る。 	一括

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間が経過している事業

- ④: 再評価実施後5年間が経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業
- ⑥: 道路事業・街路事業における一体評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業

事業評価対象事業の位置図

